

1. 幼稚園の目標	2. 本年度の重点目標
カトリックの愛と祈りの精神に基づき神様を愛し人を愛することができる子どもに育てる	・心を育てる ・心育による情操教育 ・縦割り保育 ・小学校連携の充実のカリキュラム ・挨拶・礼儀・よい生活習慣の形成 ・モンテッソーリ教育 ・地域との交流 ・環境衛生

3. 目標・評価						外部関係者から
①こころを育てる						意見や提言など
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	
教育活動	生きる力の育ち	自分で考えて判断できているか	正しい目標を定めそれに向かって努力する心の強さを担う	3.6	家庭的な雰囲気の中で、安心して過ごせるような環境作りに努めた。特に低年齢の子どもたちはゆったりと関わり信頼関係を築くように配慮した。以上児は、縦のつながりを大切にしながら活動することで、思いやりの気持ちを持ち、小さい子のお世話をしたり、友達同士で助け合ったりする姿に大きな成長を感じた。	一抹の不安と期待と喜びで胸を膨らませ入園する子、新しい環境で関心興味を抱き「どうしよう?」「どうしたら?」と子ども自身で考えるその経験の積み重ねで成長し発達します。そこにかかわる先生がゆとりを持ってこぼかかできるような、抱擁と手腕の出どころです。頑張ってください。また参観やお迎えの時に取り組みを拝見し、記述通りの子どもたちの姿を見ることができました。今後横割りで行っている玉ねぎ植えなどの活動も縦割りで行えると子どもたちの新たな一面を見られるのではないのでしょうか。
	思いやりの心の育ち	相互のつながりをふやす	縦割り保育で家庭的な雰囲気をつくる	4.1		

②宗教による情操教育(神様にお祈り出来る子・明るくいそいそした子・じっくり判断し行動できる子)						
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	神様に愛されていることを知る	すべてのものに感謝する心を学ぶ	自己肯定感と善悪の判断をつけ正しいことを実行できる良心を形成する	3.7	いつも神様に見守っていただいていることを伝え、毎日のお祈り以外でも自然と祈ることが出来るように折に触れて話すよう心掛けた。良いこと悪いことの区別をしっかりと伝え、子どもが自分で判断し「ありがとう」「ごめんない」が言える子どもになるように育てていくことを意識した。教会で祈ることが少なかったため次年度は定期的に行って神様に祈る機会を増やしたい。	保護者にも「ありがとう」「ごめんない」が言える子どもを目指していることが共有されていたため、保護者も意識して家庭で取り組むことができてよかったです。神様は善人悪人関係なくすべての人を愛しいつくむ人と伝えていきます。よい子であるが為自己発揮できないこはいないかと気にするところです。カトリック研修会等でふさわしい伝え方、教材等学ばれた祈りはぜひ導入してほしい。

③モンテッソーリ教育(子ども一人一人をよく観察し今子どもたちが何を求めているか知り一人一人に合わせて提供する)						
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	望ましい人格形成を行っていく体を動かしながら体験を深める	こどもの動きの中に意思を入れ人的環境、物的環境を通してこどもの発達を援助する	・お仕事の時間 ・縦割り活動 ・人との関りの中の体験活動 ・教具 ・研修	3.5	モンテッソーリ教育活動で自分で選び取り組むという基本を大切にしながら子ども一人ひとりを観察してその子の興味に合ったお仕事を提供できるようにした。更に発展へとつなげていけるように園内外の研修を充実させ、物的環境をしっかりと整えるようにしたい。	モンテッソーリのお仕事の時間は集中・熱中する貴重な時です。作品を見るとこんなに手先を器用に動かせるのかと感心します。子どもたちの成長に合わせて教材のサポートをしていただきました。参観での様子や持ち帰ってくるお仕事の作品を見るたびに成長を感じられました。

④小学校連携・地域との交流 (園外活動・散歩・慰問・松原清掃・小学校見学など)						
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	小学校や地域に興味をもちつながりを深め親しみをもち持つ	活動の体験を学びの自立へ持っていくよう促す	生活習慣の徹底、精神的自立ができるよう一人一人年齢に合わせた関わり方で接する	3.1	基本的な生活習慣が身につくように一人ひとりの成長に合わせて丁寧にやり方を教えていった。年長児は園外保育も多く、小学校との連携、地域とのつながりを深めることができた。年長児以外は、園外保育が少なかったため、安全に配慮しながら次年度は機会を増やしていきたい。	園外保育も楽しみの一つ。冒険心と危険を感じながら体験することで社会のしくみと自然を認識する活動です。安全第一、いつも以上に配慮が求められ大変だとは思いますが園外活動の継続・拡大をよろしく願っています。安全面で人手がある場合など保護者も協力していきたいです。

4 本年度のまとめ	達成度	外部関係者より総評
縦割り保育を通して、小さいお友だちを手伝ったり、助けたりするやさしさや思いやりの心が自然と育っている姿が見られ嬉しく思う。モンテッソーリ教育のお仕事の時間は、一人ひとりが自分で選び活動する中で、新しい発見や「できた」という達成感を味わうことで次への意欲につながっている。1年間でできることがたくさん増えたことを職員も一緒に喜びながら、さらに興味関心が広がられるように園内外の研修を通して更に学びを深めたい。また、子どもの発達や一人ひとりの気持ちにしっかりと寄り添うとともに、教師の立ち振る舞いや言葉遣いに気を付けながら子どもたちの良き手本となるよう意識して関わっていききたい。	A ほぼできた B 概ねできた C 少しかけた D 不十分だった	子どもたちひとりひとりに寄り添っていただいていると感じております。子どもたちは笑顔でのびのび活動しています。卒園式も立派でした。私たちが誇るカトリック幼稚園を卒園し新しい一歩を踏み出す子どもたちの成長です。引き続き、子どもたちにとってより良い園であっていただくと嬉しいです。いつもありがとうございます。